

## 補聴器助成を実現する会(耳の会)

8月1日、補聴器購入助成制度の創設を求めて、「補聴器助成を実現する会」(耳の会)が結成されました。結成の中心を担ったのは、年金者組合川崎支部協、川崎市社保協、川崎医療生協の3団体です。



全国で300近い自治体で実現している補聴器購入助成制度の創設を、この川崎市でも実現させることをめざします。

今後の取り組みとして、川崎市の担当者との懇談、川崎市議会の各会派への要請、医師会や老人会との懇談、施設見学、署名の取り組みなどを行うことを申し合わせました。

連絡先 川崎区藤崎4-21-1-3F

☎ 044(266)75322 FAX 044(287)1570

## 学校給食費は値上げ?それとも無償化?

6月にスタートした「学校給食の無償化を求める川崎市民の会」は、市内各地で映画「希望の給食」を見る会を開催、駅頭やつどい場で署名運動を進めています。

署名活動では反応の良さにびっくり!学校給食の無償化が子育て世代はもちろん、幅広い市民の願いになっていると実感しています。



ところが、川崎市と市教委は、物価高騰のために保護者からの給食費だけでは赤字になり「健康給食」は維持できないとして、来年度からの給食費値上げを検討。9月にも保護者アンケートを実施し、値上げに誘導しようとしています。

全国自治体の3割が学校給食の完全無償化を進めているのに、値上げなど許せません。

※ 給食無償化ネット署名にもご協力を⇒



## JR東海がリニア大深度トンネル工事を強行

リニア新幹線の川崎市内の大深度トンネル本格工事が強行されています。JR東海は宮前区梶ヶ谷の非常口から5月27日に犬蔵方面に向けての本格掘進を開始しました。このまま進むと間もなく住宅地の真下を掘ることになります。また、JR東海は東百合ヶ丘工区で9月から町田方向に向けて本格掘進を始める予定。

## 危険な工事を容認する川崎市長の回答

「リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会」は、5月27日の梶ヶ谷工区本格掘進直後にJR東海と川崎市長に対し、地上に影響が出る危険なトンネル工事を中止するよう申し入れました。

福田市長の回答は「本市としては、JR東海に対し安全確保や環境への影響について十分配慮するとともに、地域の皆様に丁寧な説明を求めています」というだけでした。

市長の余りに傍観者的な見解に驚きです。



地下80mのトンネル内部

川崎市は市民の安全・安心な生活よりもJR東海の計画が進むよう手助けしているとしか見えません。

大深度だから安全という大深度法のたてまえは、2020年の東京、調布市の地盤崩落で崩れています。工事による振動や地盤崩落事故が心配です。

## 秋の企画のお知らせ

主催: ゆめホールシネマ倶楽部

共催: 川崎民主市政をつくる会

◆10月27日(日)4回上映

①9時 ②12時 ③15時 ④18時

◆会場 かわさきゆめホール

◆前売り券1000円、当日券1500円

## 「OAOB、区長になる女」

東京杉並区。人口57万人・有権者数47万人という規模の選挙でありながら、わずか187票差で現職区長を破った岸本聡子と、彼女を草の根で支えた住民たちに密着したドキュメンタリー。

川崎で大きな変化を起こすとしたら何ができるのか学ぶことは多いと思います。



岸本聡子さん

連絡先 info@newkawasaki



## 第3回市議会(9月)に向けて3つの行動を!

- ① 議会に積極的に陳情や請願を提出しましょう。
- ② 各会派に要求実現の申し入れを行いましょう。
- ② 記者クラブへ積極的に情報提供をしましょう。

#チェンジ川崎  
メルマガ「新しい川崎」を読みましょう。

毎週火曜日に  
発行・送信します  
無料です。



川崎民主市政をつくる会のホームページには川崎市政や市民運動の情報が満載です。ぜひご覧ください

